

環境・観測目的に合わせたシステム構築が可能

地すべりの観測・監視に対して、観測センサから測定器、データ処理器まで観測地点の環境・観測の目的にあったシステムを構築することができます。

■観測センサ

パイプ歪計 VP / 伸縮計 SSD-510T SA / 孔内伸縮計 SSD-510TSB / 自記記録型伸縮計 SSD-C, D / 水位計 BWL / 間隙水圧計 BP / 埋設型傾斜計 BKJ / 自動挿入型傾斜計 BKA / 土圧計 BE / 温度計 BTS, BT / 雨量計

■測定, 処理器

指示器 BMD-200B / スイッチボックス NS-H / デジタルストレインレコーダ RMH-301B, 210A M10 / データロガー UCAM-65B, 60B / スキャナ USB 70B-30 / パソコン

■観測システム

① 手動測定

電源がとれない / 計測頻度がそれほど高くない(1回/日) / 観測箇所に容易に立ち寄ることができる / 測定点数が数点 / 計測期間が短期間 / 指示器での読み取り

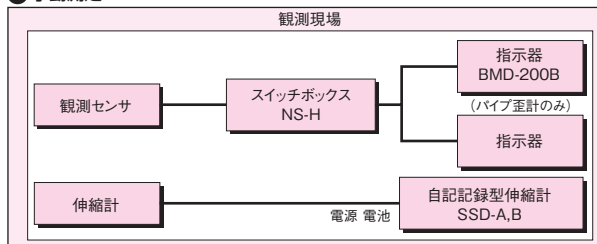
② 半自動測定

電源がとれない / 計測頻度が高い / 電池駆動のデジタル記録器で、データを集録、PCカードまたはRS-232Cインタフェースを介してパソコンに転送し、パソコンで市販の表計算ソフトウェアを利用したデータ処理が可能 / 太陽電池を利用したシステムの構築が可能

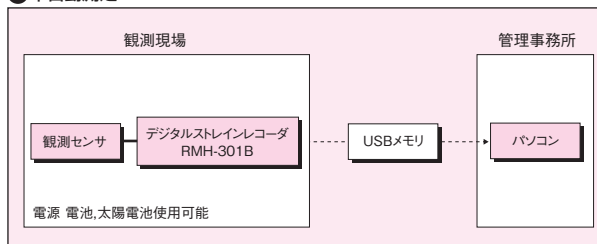
③ 全自動測定

観測箇所が多く、人力による測定が困難な場合 / 測定データのリアルタイム処理が必要な場合 / データロガーによる多点計測で、モデムを介して管理事務所に伝送し、パソコンで市販の表計算ソフトウェアでデータ処理が可能 / 太陽電池を利用したシステムの検討が可能

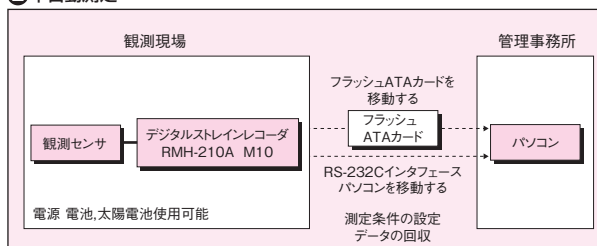
① 手動測定



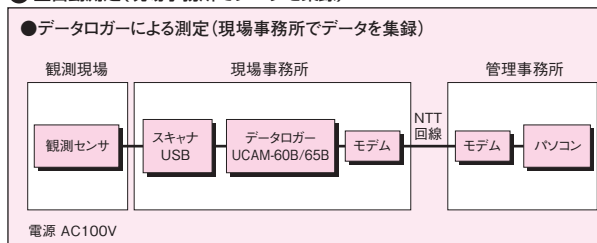
② 半自動測定



② 半自動測定



③ 全自動測定 (現場事務所でデータを集録)



③ 全自動測定 (観測現場でデータを集録)

